②年金資産の期首残高と期末残高の調整表

（単位：円）

a．期首における年金資産	233,019,577
b．期待運用収益	16,385,937
c．数理計算上の差異の当期発生額	△ 18,531,355
d．事業主からの拠出額	7,065,139
e．退職給付の支払額	△ 5,933,556
f．制度加入者からの拠出額	1,056,572
g．期末における年金資産額（a～f）	233,062,314

③簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

（単位：円）

a．期首における退職給付引当金	266,584,882
b．退職給付費用	18,180,725
c．退職給付の支払額	△ 29,467,179
d．期末における退職給付引当金	255,298,428

④退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

（単位：円）

a．積立型制度の退職給付債務	513,857,117
b．年金資産	△ 233,062,314
c．積立型制度の未積立退職給付債務（a＋b）	280,794,803
d．非積立型制度の未積立退職給付債務	255,298,428
e．小計（c＋d）	536,093,231
f．未認識数理計算上の差異	△ 72,924,506
g．貸借対照表に計上された負債と資産の純額（e＋f）	463,168,725
h．退職給付引当金(g)	463,168,725
i．前払年金費用	—
j．貸借対照表に計上された負債と資産の純額(g)	463,168,725

⑤退職給付に関する損益

（単位：円）

a．勤務費用	3,458,466
b．利息費用	1,035,248
c．期待運用収益	△ 16,385,937
d．数理計算上の差異の費用処理額	13,153,605
e．簡便法で計算した退職給付費用	18,180,725
f．合計（a～e）	19,442,107

⑥年金資産の主な内訳

年金資産に対する主な分類ごとの比率は次の通りです。

a．債券	20％
b．株式	19％
c．保険資産（一般勘定）	11％
d．その他	6％
e．代行返上に伴う責任準備金前納額	44％
f．合計（a～e）	100％

⑦長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在の年金資産の配分と過去の運用実績を考慮しております。

⑧数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表しています。）

a．割引率	0.2％
b．長期期待運用収益率	7.032％

⑶　確定拠出制度

当法人の確定拠出制度への拠出額は、2,714,340円です。

4．運営費交付金又は政府交付金で財源措置されるため計上しない退職給付引当金の見積額は、699,323,457円であります。

5．当期の運営費交付金又は政府交付金で財源措置されない賞与の見積額は、75,425,250円であります。